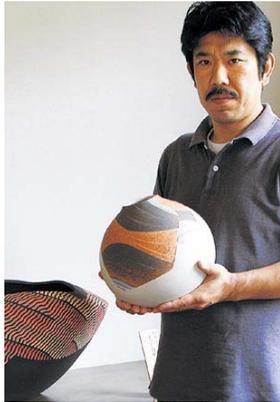


**創意工夫を重ねた「播彩花器」で**

「日夜考え、地道に積み重ねた活動が認められ、ありがたくもあり誇りに思います」上野焼の世良彰彦さんが、九州・山口・沖縄から選抜された作家100人から、さらに厳選された30人に選ばれました。「後継者問題にあえぐ上野焼も、若手のがんばりで町のPR隊になれる。これからは、次世代のためにジャンルを超えた活動を通して、上野焼と町の活性化の一助になりたい」と、栄えある選抜を受けた世良さんが力強く語りました。



↑作品展示は、6月20～25日に天神・岩田屋で。

↓会員数も76人に増え、毎月の河川敷清掃を欠かさない夢の会のみなさん。



**地道な環境づくりに全国的評価**

平成9年に発足した、ひこさんがわ夢の会。以来、河川敷でのコンサートや子どもたちへの環境教育や上野橋のこいのぼり掲揚などを行ってきました。人と自然のふれあいやまちおこしへと発展した、その長年の活動が認められ、6月2日に長野県で開催された「全国みどりの愛護のつどい」で国土交通大臣から功労者賞を受けました。

**生涯現役の心で的を射抜く**

年齢性別に関係なくできる弓道は、生涯スポーツとして多くの高齢者に親しまれています。5月23日福智町金田スポーツセンター弓道場で「九州北部弓道愛好者長寿会」主催の弓道大会が開かれました。北部九州4県から男子60歳以上・女子50歳以上の弓道愛好者145人が、西日本屈指の弓道場で弓を引き、互いの親交を深めました。



↑キリリとしたまなざしにピンと伸びた背筋、若々しい姿で弓を引く参加者たち。

↓「せせらぎ」に手に喜びの笑顔を見せる、チームワーク抜群な広報委員のみなさん。



**内容と愛情が詰まったPTA新聞**

福岡県PTA連合会主催のPTA広報紙コンクール小学校部門で、弁城小のPTA新聞「せせらぎ」が、第1位となる県教育委員会賞を受賞しました。学校行事の紹介よりもPTA活動や地域での取り組みの掲載に重点を置いた「せせらぎ」は、広報委員が毎月の会議や、日ごろアイデアを練って出し合った成果が最高の評価を得ました。

↓くす玉が割られ、浦田弘二町長（右から2人目）から東さん親子に記念品が手渡されました。



**わ ぶじ湯の里お客さま100万人 わずか2年半で大台突破**

6月16日夕方、方城温泉ぶじ湯の里に待ちに待った100万人目のお客さまが来場しました。記念すべき目録を手にしたのは北九州市の東孝範さん。福智町産のお米30kgと11回分の入場券が浦田弘二町長から贈られると「まさか100万人目になるとは。いつも子どもを連れて来るので回数券はうれしいです」と顔をほころばせました。ぶじ湯の里は、平成16年にオープン以来、泉質の良さや掛け流しが評判で、当初予想2倍のペース（2年半）で100万人を突破しました。

**相 山本翔也くん福岡県中学生相撲選手権大会準優勝 撲の聖地両国国技館の土俵へ**

金田中3年生の山本翔也くん（平原）が、6月17日に久山町で行われた「全国都道府県中学生相撲選手権大会福岡県予選」で準優勝を飾りました。山本くんは、柔道仕込みの強じんな足腰を生かした土俵際の驚異的な粘りと強烈な下手投げが最大の武器。8月5日の全国大会に福岡県代表として両国国技館（東京）の土俵に立ちます。



↑相撲のおもしろさに目覚め、心身共に一回りも二回りも成長した山本くん。

↓創立以来初の全国大会出場。夢はでっかく「全国制覇」頑張ります。



**県 金田ジュニアが福岡県代表に 県大会の経験を生かし全国の舞台へ**

金田ジュニアクラブが「高宮宮賜杯学童軟式野球大会」の田川支部予選と筑豊地区予選を勝ち抜き、6月16・17日に北九州市で行われた県大会に出場。見事ベスト8の成績を収めました。また、近年の活躍が認められ、筑豊地区からの推薦で、8月3～7日に徳島県で行われる「大鳴門橋学童軟式野球大会」に福岡県代表として出場します。